



日本生命様・環境省様と共同で 中堅・中小企業様向けの脱炭素セミナーを開催しました

株式会社 Sustech（本社：東京都港区、代表取締役：丹野裕介・飯田祐一郎、以下「Sustech」）と、日本生命保険相互会社（本社：大阪府中央区、代表取締役：清水博）及び環境省は、2022年5月18日、脱炭素セミナー「中堅・中小企業が晒されるカーボンニュートラル化の波と対応策」を共同で開催いたしました。

カーボンニュートラル化に向けた対応が世界的に進む中、国内でもプライム市場上場企業に対してTCFD宣言に基づいた対応が求められるようになり、その取引先企業となる中堅・中小企業においてもカーボンニュートラル化に向けた取り組みが必要になってきています。こうした動きを踏まえ、サプライヤーとなる中堅・中小企業を対象に、カーボンニュートラル化の流れと具体的な対応策について講演いたしました。



■セミナー概要

第1部：「2050年カーボンニュートラルの実現に向けた脱炭素経営の促進について」

第1部では、環境省 地球環境局地球温暖化対策課様より、カーボンニュートラルに向けた国内外の動向や脱炭素経営の概念についてご説明いただきました。また、環境省で取組まれている、中堅・中小企業を対象とした最新の脱炭素支援事業についてもお話いただきました。

※以下、環境省の当日講演資料「2050年カーボンニュートラルの実現に向けた脱炭素経営の促進について」から一部抜粋

～脱炭素経営とは何か？～

脱炭素経営とは何か？

- 脱炭素経営とは、**気候変動対策（≒脱炭素）の視点を織り込んだ企業経営**のこと。
- 従来、企業の気候変動対策は、あくまでCSR活動の一環として行われることが多かったが、近年では、気候変動対策が企業にとって経営上の重要課題となり、全社を挙げて取り組む企業が増加。

**気候変動対策が
企業経営上の重要課題に**

【従来】

- 気候変動対策 = コスト増加
- 気候変動対策 = 環境・CSR担当が、CSR活動の一環として行うもの

↓

【脱炭素経営】

- 気候変動対策 = 単なるコスト増加ではなく、**リスク低減と成長のチャンス（未来への投資）**
- 気候変動対策 = **経営上の重要課題として、全社を挙げて取り組むもの**

出典：「TCFDを活用した経営戦略立案のススメ～気候関連リスク・機会を織り込むシナリオ分析実践ガイドVer3.0～」より環境省作成 http://www.env.go.jp/policy/policy/tcfid/TCFDguide_ver3_0_1_2.pdf

～CO2削減比例型中小企業向け支援事業～

CO2削減比例型中小企業向け支援事業（R3補正予算30億円）

CO2削減に応じた補助で、コロナ禍で戦う**中小企業等**を支援

- コロナ禍を乗り越え、脱炭素化に取り組む中小企業等の新たな設備投資を支援
- CO2削減量に比例した設備導入支援により、省CO2型設備の導入を加速化
- コロナ後のCO2排出量リバウンドを回避しつつ、グリーンリカバリーの実現を力強く後押し

補助のイメージ

事例1：空調機+ヒートポンプ
旅館で高効率空調機とヒートポンプを更新

補助額	3,080万円 (CO2削減量6,160t × 5,000円)
事業費	8,740万円
補助率	約35%

5000円/tCO₂の補助が出る...

事例2：ボイラーの燃料転換
食品工場で重油から都市ガスボイラーに

補助額	1,015万円 (CO2削減量2,030t × 5,000円)
事業費	3,520万円
補助率	約29%

【注釈】CO2削減量は、年度CO2削減量÷法定削減率。また、「事業費」は、補助対象経費へス

第2部：「中堅・中小企業としての脱炭素対応」

第2部では Sustech より、社会のカーボンニュートラル化の流れを踏まえて、中堅・中小企業に求められる脱炭素経営についてお話をいたしました。

先ず前半ではカーボンニュートラルに関する社会全体の動きや大手企業の対応をご紹介します、それによって中堅・中小企業に対して求められていること、また、中堅・中小企業がカーボンニュートラル対応をビジネスチャンスに変えるための考え方や、その具体的な対応方法について言及いたしました。

後半では、カーボンニュートラル対応の進め方について、第一段階となる GHG 排出量の「見える化」を実施するにあたっての必要事項、またその際に直面し得る課題や対応方法について、排出量の算定事例を交えてお伝えいたしました。

～迫るカーボンニュートラル化の波～

1. 迫るカーボンニュートラルの波

取引先からも、具体的な中長期排出削減目標設定の要請が出始めている

サプライヤーへの目標設定を求めるSBT認定企業(一部抜粋)

企業名	セクター	目標年	目標概要
大和ハウス工業	建設業	2025	購入先サプライヤーの90%にSBT目標を設定させる
第一三共	医薬品	2020	主要サプライヤーの90%に削減目標を設定させる
ナブテスコ	機械	2030	主要サプライヤーの70%に、SBTを目指した削減目標を設定させる
イオン	小売	2021	購入した製品・サービスによる排出量の80%に相当するサプライヤーに、SBT目標を設定させる
大日本印刷	印刷	2025	購入金額の90%に相当する主要サプライヤーに、SBT目標を設定させる

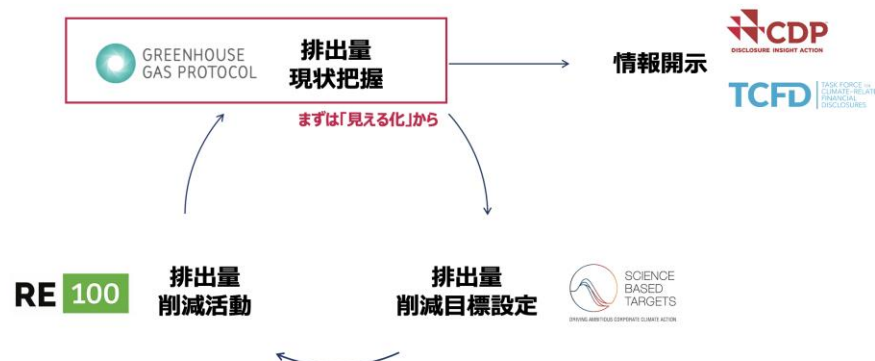
© Sustech, Inc. 出典：環境省「中長期排出削減目標等設定マニュアル」

～なにから取り組めば良いのか～

2. 何から取り組めば良いのか

カーボンマネジメントの姿

カーボンニュートラル達成に向けた取り組みの全体像



© Sustech, Inc.

■今後のセミナー開催予定

今後も、中堅・中小企業様を対象としたセミナーを順次開催予定です。セミナーの開催情報は当社ホームページにて随時更新を予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■Sustech について

株式会社 Sustech は「テクノロジーを通じて、企業と社会のグリーントランスフォーメーションを支援する」ことをミッションとするエネルギーテック企業です。ESG、脱炭素、エネルギー等の領域における業界のミッシングパーツを特定し、企業の環境戦略をご支援するプロダクトを開発しております。現在では脱炭素支援プラットフォーム「CARBONIX」、分散型電力運用 VPP プラットフォーム「ELIC」を展開しております。

会社概要

株式会社 Sustech

代表取締役：丹野裕介・飯田祐一郎

住所：東京都港区芝 3-1-14 5 階

設立：2021 年 6 月

資本金：4.3 億円（資本準備金含む）

HP：<https://sustech-inc.co.jp/>